



発行：市川市中央図書館 編集：レファレンスカウンター 〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 TEL. 047-320-3346

	INF	REF	こども	電話	メール	中央計	行徳	BM	南行	信篤	平田	駅南	全館計
4月	865	462	530	46	1	1,904	565	60	158	128	47	588	3,450
累計	865	462	530	46	1	1,904	565	60	158	128	47	588	3,450

INF:インフォメーション・カウンタ REF:レファレンス・カウンタ BM:自動車図書館

レファレンス協同データベース 2024 年結果

国立国会図書館レファレンス協同データベース（レファ協）に市川市が提供した「レファレンス事例」「調べ方マニュアル」への全国からのアクセス結果をご紹介します。



こどもとしょかん作成の「プラスチックについて調べようプラスチック博士（はかせ）になろう！（市川市中央図書館調べ方案内・児童版）」が2024年の年間アクセス数12,750件となり、「調べ方マニュアル」部門で**トップ1**になりました。

2024 年市川市提供「レファレンス事例」 アクセスランキングトップ3

	質問	閲覧数	登録番号
1	江戸時代、武士では身分によって屋敷の門が違ったようだが、武士、町人、商人のそれぞれの身分でどのように門が異なっていたか知りたい。	603	1000360602
2	ムレキシド反応を簡単に言葉で説明したい。	464	1000360578
3	ジンベイザメはイワシやカツオがその付近を泳ぐことから、漁師から「えびす」などと親しまれて信仰されていると聞いた。このようなジンベイザメの民俗信仰について知りたい。	387	1000360214

累計 市川市提供「レファレンス事例」 アクセスランキングトップ1

1	介護関係の略称だと思うのだが、「PT」「OT」「SW」とは何か。またそれに関する本がみたい。（2007 年事例提供）	71,638	1000042121
---	--	--------	------------

回答が気になる方はレファレンス協同データベース（<https://crd.ndl.go.jp/reference/>）にアクセスして、登録番号で検索してみてください。

🔍 今月のレファレンス記録票から

分類	質問と内容
----	-------

I/D1 市川市の鮎の郷土料理に関する資料を探している。

『千葉県立房総のむら資料調査報告書 第8集(平成3年度)』（千葉県立房総のむら資料調査会／編集 千葉県立房総のむら 1992）p.9-10「I.下総地域の郷土食 2 市川市本塩」「⑧料理名 鮎の甘辛煮」に記載あり。

千葉県のWEBサイト「ちばの郷土料理」基本リストについて（平成29年度）の「基本リスト」（5）惣菜・魚貝、肉、乳のNo432「鮎の甘露煮（4）」の歴史・由来の項に「市川市早春や秋の収穫が終わると村中で堰浚えをする。保存しておいて正月や春先の暇な時期に作って食べた。」と記載があった。（現在は削除となっている）

その他に市川の記載はないが、千葉県内の鮎料理の記載のある資料を紹介。利根川流域水郷地帯の佐原や印旛沼が多い。『千葉県の自然誌 本編8』（千葉県 2004）のp.203に下総地域に伝わる郷土料理として、鮎のなます、たたき汁、甘露煮、昆布巻とあるほか p.205 日常食と食

材の利用法（印旛郡印西町）にはフナ：ビンヤキ、たたき、煮魚、塩焼き、 p.207 千葉県各地の郷土料理（利根川流域）には、 鮎の甘露煮の記載あり。

また、『日本の食生活全集 12 聞き書 千葉の食事』（農山漁村文化協会 1989）の p.262, p.297, p.301, p.317-318, p.332 にレシピや鮎料理に関連する記載あり。『房総のふるさと料理』（千葉県農業改良協会 1982） p.135-138 には、印旛郡印旛村・栄町、佐原市、夷隅郡大原町、香取郡山田町の鮎料理について、由来・作り方・材料主産地などが記載されている。

377.2 「最高学府」という言葉はいつ頃から使われたのか。また、「最高学府」を東京大学としている古い作品はあるか。

学府という文言は『日本国語大辞典 第3巻 おもふ-きかき（第2版）』（小学館 2001）によると、「（府はものの集まるところの意）学問を志す人が集まる場所。学校。」とある。用例として『本朝文粹』（1060年頃）「三・弁山水」＜橘直幹＞「子学府承家、詞林累葉」が記載されている。

文部科学省のWEBサイトより『学制百年史』の中で、「第一編 近代教育制度の創始と拡充 序章 幕末維新期の教育 ― 幕末期の教育」に「江戸時代の最高学府として、諸藩の藩校の模範ともいべき地位を占めていたものは、幕府が江戸に設けていた昌平坂学問所（昌平黉）であった。」という記載があった。https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/others/detail/1317577.htm（2025.10.28 確認）また、「第一章 近代教育制度の創始（明治五年～明治十八年） 第一節 概説 ― 文部省の設置」にも「当時の大学は最高学府であるとともに教育行政官庁であった。」と記載あり。https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/others/detail/1317580.htm（2025.10.28 確認）いずれもリンク先から全文閲覧可能。

最高学府という言葉の古い用例を調べるために、国立国会図書館デジタルコレクションでキーワード「最高学府」で検索したところ、出版年が最も古い資料として『思出の記』（徳富蘆花（健次郎）／著 民友社 1901）<https://dl.ndl.go.jp/pid/885690>（2025.10.28 確認）があり、195 コマに「幼な心に、こま日本の最高學府と内々恐がつた大学も、入つて見れば何有思つ。程にもなく」、198 コマに「奉じて、苟くも日本の最高學府に籍を置きながら」の記載があった。

最高学府を東京大学として記述している作品は、『江戸から東京へ 第1巻』（矢田挿雲／著 中央公論社 1980） p.142、『桑原武夫全集 第4巻』（桑原武夫／著 朝日新聞社 1968） p.93、『内田魯庵全集 4 回想』（内田魯庵／著 ゆまに書房 1985）「明治文学の開拓者」 p.62 等があった。

他にもこんな質問ありました（クイック・レファレンスから）

- | 分類 | 質問 | ⇒ 回答、補足事項、蘊蓄など |
|-------|--|----------------|
| 366.2 | ライターの仕事について書かれた本を探している⇒探し方をご案内。図書館の詳細蔵書検索で「一般件名」に「作家」と入れて検索すると『「書く仕事」のはじめ方・稼ぎ方・続け方』藤木 俊明／著（同文館出版 2023）『書く仕事がしたい』佐藤 友美／著（CCC メディアハウス 2021）『成功する Web ライターの仕事術』ランサーズ株式会社／監修（日本実業出版社 2018）『記者・ライターの「お仕事」と「正体」がよ〜くわかる本』秋山 謙一郎／著（秀和システム 2016）などの本が表示される。 | |
| 933- | 現代ではない、古典的な海外の冒険活劇の本を紹介して欲しい。恋愛要素があればなお可。⇒著名な作品からピックアップし、市内図書館に所蔵がある以下を紹介した。
『スカーレット・ピンパーネル 新訳』（バロネス・オルツィ／著 小川隆／訳 集英社 2008）※古くは『紅はこべ』というタイトルでも出版あり。『茶色の服を着た男』（アガサ・クリスティ／著 向後英一／訳 東京創元社 1981）、『黒いチューリップ』（アレクサンドル・デュマ／著 宗左近／訳 東京創元社 1976）、『二都物語』（チャールズ・ディケンズ／著 加賀山卓朗／訳 新潮社 2014）、『アイヴァンホー 上・下』（ウォルター・スコット／作 菊池武一／訳（岩波書店 1964）、『ゼンダ城の虜』（アンソニー・ホープ／著 井上勇／訳（東京創元社 1981）。 | |